

# 立命館大学びわこ・くさつキャンパス開設30周年企画 ライフサイエンス学術講演会（第1部）

## 2050年カーボンニュートラル に向けたエネルギー利用の課題

近年、世界各地で記録的な猛暑が続いており、地球温暖化の深刻さが一層実感されています。

温室効果ガスの排出をゼロにすることを目指すカーボンニュートラルの重要性も、ますます認識されつつあります。

本講演では、カーボンニュートラルに向けたエネルギー利用の将来像を描くとともに、その実現に向けた課題を、産業界と学术界の異なる視点から検討します。

**11.10** SUN  
**13:00-14:30**

13:00 開会挨拶：若山守 教授（生命科学部 学部長）

13:05 講演1「未来のエネルギーと脱炭素」

講師：長谷川卓也 氏（Abalance株式会社 執行役員／  
法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科）



13:35 講演2「燃料電池・二次電池におけるアカデミアの寄与」

講師：折笠有基 教授（生命科学部 教授／RARAフェロー）



13:55 休憩

14:05 対談「2050年カーボンニュートラルは実現できるか？」

14:25 閉会挨拶：折笠有基 教授



お申し込みはこちら

- ・ 会場：びわこ・くさつキャンパス コーピングハウス1 102
- ・ 日時：2024年11月10日 13:00～14:30
- ・ 参加費：無料（事前申込制）。なお、当日参加も可能です。
- ・ 登録方法：下記のアドレスかQRコードからお申し込みください。

お申し込み <https://forms.office.com/r/nxmXpaSyAU>



主催：立命館大学生命科学部

お問合せ先：生命科学部事務室



[seimeisk@st.ritsumeai.ac.jp](mailto:seimeisk@st.ritsumeai.ac.jp)



077-561-5021

# 立命館大学びわこ・くさつキャンパス開設30周年企画 ライフサイエンス学術講演会（第2部）

## 超高齢社会にどう備えるか

65歳以上の人口が総人口に占める割合が、21%超の社会のことを超高齢社会といいます。

日本は2007年に突入し、2022年には29%で、2050年には約36%になると予想されており、世界でもトップレベルの超高齢社会国です。

立命館大学生命科学部では今後この問題に取り組んでいきます。

老年医学、糖尿病学をけん引されてきた研究者をお迎えし、健康や福祉など、さまざまな社会問題について考えたいと思います。

11.10 SUN  
15:00-16:30

15:00 開会挨拶：若山守 教授（生命科学部 学部長）

15:05 講演1 「超高齢社会におけるWell-being  
を考える老年医学の役割」

講師：荒井秀典 氏

（国立長寿医療研究センター 理事長／RARAフェロー）



15:30 講演2 「演題：超高齢社会を見据えた最近の糖尿病治療」

講師：稲垣暢也 氏

（医学研究所北野病院 理事長／京都大学 名誉教授）



15:55 休憩

16:05 対談「これからの超高齢社会を考える」

16:25 閉会挨拶：向英里 教授（生命科学部 副学部長）

- ・ 会場：びわこ・くさつキャンパス コーニングハウス I 102
- ・ 日時：2024年11月10日 15:00～16:30
- ・ 参加費：無料（事前申込制）。なお、当日参加も可能です。
- ・ 登録方法：下記のアドレスかQRコードからお申し込みください。



お申し込みはこちら

お申し込み <https://forms.office.com/r/nxmXpaSyAU>



主催：立命館大学生命科学部

お問合せ先：生命科学部事務室

✉ [seimeisk@st.ritsumeai.ac.jp](mailto:seimeisk@st.ritsumeai.ac.jp)

☎ 077-561-5021